

大分県

OITA Prefecture

2016

目次

- 1 大分県のすがた
- 2 大分県の経済・産業
- 3 大分県庁の組織と業務
- 4 政策の仕組み
- 5 安心・活力・発展プラン2015
- 6 大分県行財政改革アクションプラン
- 7 平成28年度大分県予算
- 8 平成28年度の主な取組
- 9 大分県高速交通体系図、
県のシンボル



日本一の

おんせん県おおいた



みりやく

味力も満載

1. 大分県のすがた

(1) 大分県の位置

大分県は「アジアの玄関口」である九州の北東部に位置し、北側は周防灘に、東側は伊予灘、豊後水道に面しています。



(2) 大分県の市町村

大分県は18市町村(14市3町1村)から構成されています(平成の大合併前は58市町村(11市36町11村)でした。)

総人口は約116.5万人(H28.2.1現在)であり、人口が最も多い市町村は県庁所在地である大分市です。総面積は約6,340km²であり、面積が最も広い市町村は佐伯市です(九州一)。

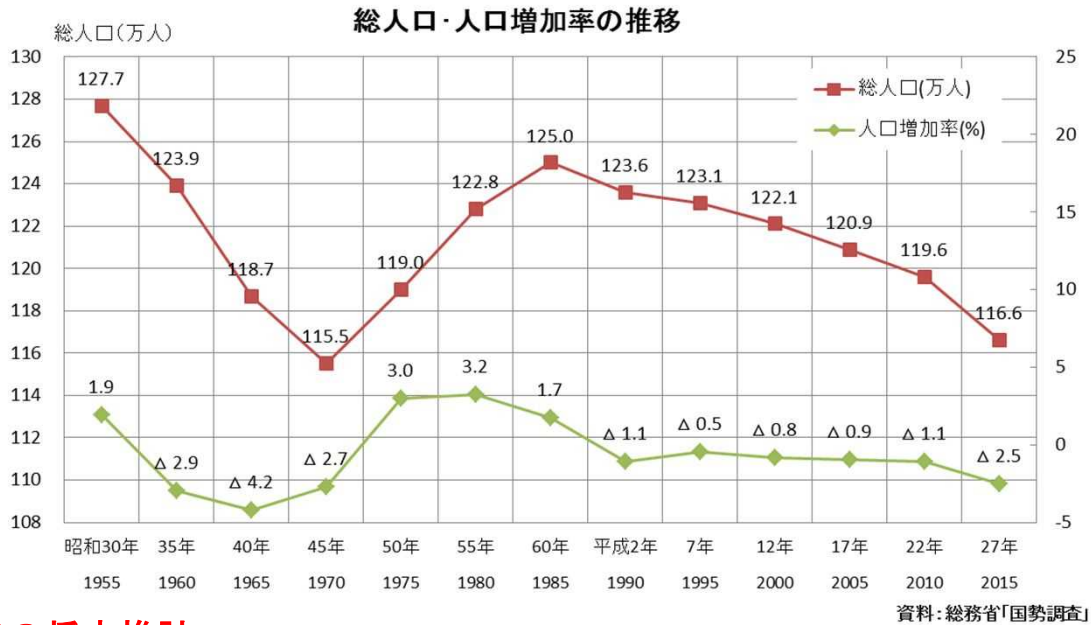
区分	面積 H27.10.1 (km ²)	世帯数 H28.2.1 (世帯)	人口 H28.2.1 (人)		
			総数	男	女
大分県	6,340.70	485,578	1,164,873	551,212	613,661
大分市	502.39	203,548	478,631	230,096	248,535
別府市	125.34	55,189	121,853	55,296	66,557
中津市	491.53	35,762	83,942	40,299	43,643
日田市	666.03	25,105	66,325	31,339	34,986
佐伯市	903.11	29,539	71,833	33,081	38,802
臼杵市	291.20	15,068	38,641	18,226	20,415
津久見市	79.48	7,481	17,864	8,281	9,583
竹田市	477.53	9,077	22,166	10,262	11,904
豊後高田市	206.24	9,535	22,803	10,749	12,054
杵築市	280.08	12,123	30,088	14,440	15,648
宇佐市	439.05	22,467	56,119	26,229	29,890
豊後大野市	603.14	14,205	36,461	16,873	19,588
由布市	319.32	13,213	34,166	16,165	18,001
国東市	318.08	12,078	28,521	13,531	14,990
姫島村	6.98	877	1,988	924	1,064
日出町	73.32	10,900	28,052	13,325	14,727
九重町	271.37	3,457	9,595	4,527	5,068
玖珠町	286.51	5,954	15,775	7,569	8,206

資料: 国土地理院、県統計調査課

(3)人口の推移

大分県の人口は、昭和30年の127万7千人をピークに減少を続け、昭和45年には115万5千人にまで落ち込みましたが、その後は増勢に転じ、昭和60年には125万人となりました。

しかしながら、昭和60年を境として、東京一極集中や過疎化の進行等により減少傾向が続いており、平成27年(速報値)には116万6千人となり、昭和45年以来の大きな減少率となりました。

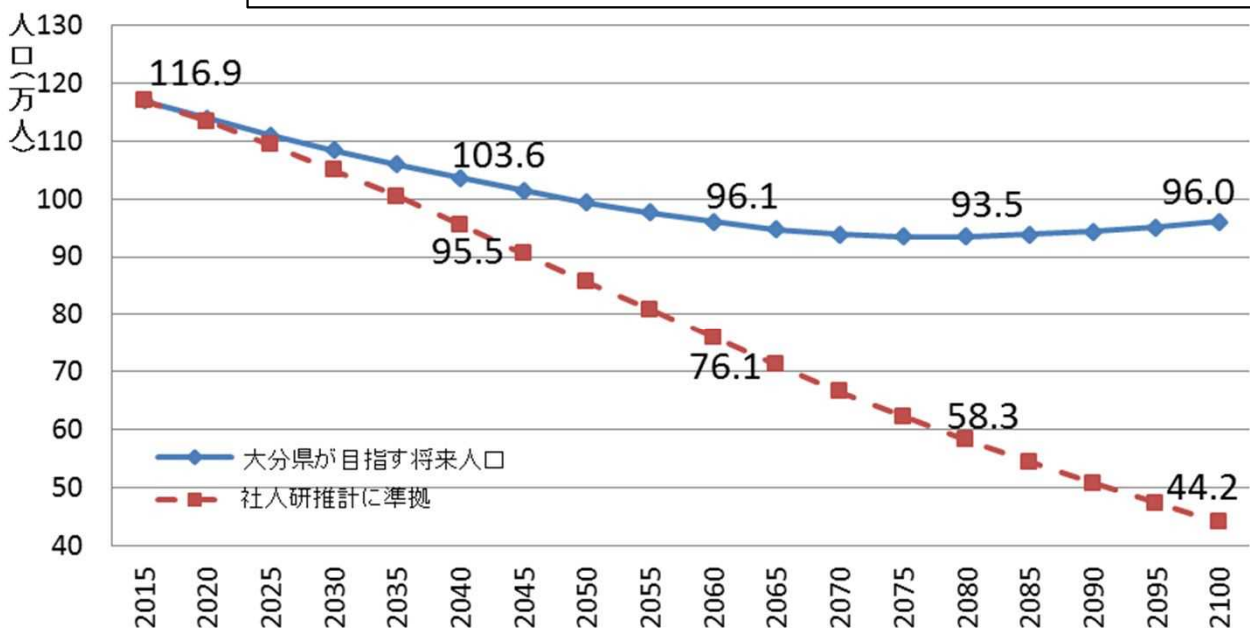


(4)人口の将来推計

大分県の人口は、現状のまま何も対策を講じなければ、今後も減少を続け、2100年には44.2万人となることが推計されています。

しかしながら、自然増、社会増の両面からこれまでの政策に新たな政策を積み重ねていくことにより以下の目標を達成できれば、人口減少カーブは緩やかになり、おおよそ2080年以降は増加に転じさせることが可能であることも示しています。

<大分県が目指す将来人口の実現に向けて>
 自然増：若い世代の結婚・子育ての希望の実現
 (実現した場合の合計特殊出生率：2030年に2.0、2040年に2.3程度)
 社会増：2020年までに社会増減均衡、2025年から社人研推計に1,000人程度上乗せ



(5) 大分県の特徴

大分県は、温暖な気候に恵まれ、海や山などの豊かな自然、その中で育まれた新鮮で安全な食材、宇佐神宮や六郷満山、国宝臼杵石仏をはじめとした磨崖仏などの貴重な歴史的文化遺産など多くの地域資源があります。

また、なんとといっても県内全域に広がる温泉は、日本一の湧出量と温泉数を誇り、地球上にある11種類の泉質のうち10種類を有しています。

さらには、「The・おおいた」ブランドとして、関あじ・関さば、豊後牛などの高級食材をはじめ、カボスやしいたけなど四季折々の素晴らしい食材も満載です。



日本一の温泉湧出量、源泉数を誇り、バラエティに富んだ温泉が満喫できる別府をはじめ、別府湾沿いに開けたエリア。海を望む水族館やテーマパークなどのレジャーも充実。



かつて宇佐神宮を中心とした八幡文化で栄えた宇佐地域と、「六郷満山」と呼ばれる独自の仏教文化が花開いた国東半島を中心とするエリア。磨崖仏や石橋など石造物も豊富。



江戸幕府の直轄地「天領」として栄え、今も当時の町並みと町人文化が残る日田、城下町の風情が息づく中津など、歴史の薫り漂うエリア。新耶馬溪一帯は奇岩奇峰と瀬流が織りなす景勝地。



1700m級の山峰が連なるくじゅう連山をはじめ、祖母・傾山系、由布岳など、雄大な山々に囲まれたエリア。四季折々に色合いを変える大自然の山歩きや高原散策、山間のいで湯を楽しめる癒やしのスポット。



清流・大野川の中・上流域に開けたエリアで、豊かな自然が清らかな水を育む名水のふるさと。「九州の小京都」竹田は、岡城趾など、当時の隆盛がしのばれる城下町。



日豊海岸国定公園に指定された美しいリアス式海岸が続く、大分県南エリア。旧藩時代のたたずまいが残る臼杵や佐伯など、海辺の城下町は情緒たっぷり。関あじ・関さばをはじめ、豊後水道で揚がる海の幸が絶品。

(6)大分県の日本一

天然自然が豊かな大分県には様々な日本一があります。特に、七島イの生産は全国で100%のシェアを誇っています。



温泉源泉総数
4,381孔 (26年度末)
温泉湧出量
279kl/分 (26年度末)



再生可能エネルギー
自給率
30.1% (26年度末)



県指定有形文化財
(建造物)
206件 (27.5.1)



道路トンネル数
551本 (26.4.1)



カボス生産量
5,400t (26年)



乾しいたけ生産量
1,514t (26年)



七島イ生産量
12t (26年)



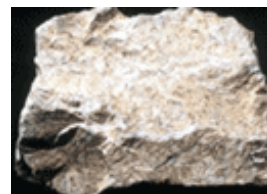
サフラン(花芯)生産量
22.2kg (25年)



マダケ竹材生産量
54千束 (26年)



ホオズキ出荷本数
990千本 (26年)



石灰石生産量
26,367千t (26年度)

(7)大分県の歴史

大分県は、古くは豊の国と呼ばれ、7世紀の終わり頃、豊前・豊後の二国に分けられました。

8世紀には宇佐八幡宮が全国4万社の八幡の総本宮として栄え、また、国東半島には「六郷満山」と呼ばれる独自の仏教文化が花開きました。

13世紀の初め(鎌倉時代)、豊後には大友氏が守護として入国し、以後約400年間統治が続きました。特に、大友宗麟の時代には、豊前を含め北部九州6か国を支配するまでとなりました。大友宗麟は、キリシタン大名としてキリスト教や西洋文化を積極的に取り入れました。府内(現在の太田市)、臼杵には中国船やポルトガル船が入り、「南蛮貿易」が盛んに行われ、国際都市として繁栄しました。

16世紀末、豊臣秀吉によって大友氏が除国されると、領国は極端に細分化されました。その後約300年間、小藩分立の時代が続き、県内各所に城下町文化が花開いたことにより、自主自立の気風を育み、個性豊かな人材を生み出しています。

明治になると、大幅な府県改廃が進められ、豊後国は大分県に、豊前国は小倉県になりました。

その後、県の統廃合が行われ、下毛・宇佐両郡が大分県に編入され、今日の大分県域となりました。

3世紀	宇佐邪馬台国説
720ごろ	「豊後国風土記」成る
731	宇佐八幡宮、官弊社となる 六郷満山文化、国東半島を中心に展開
1551	フランシスコ・ザビエル来訪
1871	廃藩置県により大分県誕生
1876	下毛、宇佐郡を大分県に編入し、現大分県域が確定
1962	県庁舎が現在の場所に建設される
2006	平成の大合併により18市町村となる

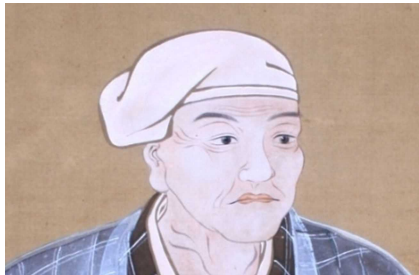
(8)大分県の偉人

(近世…安土桃山、江戸時代)

**大友 宗麟**

(戦国武将:1530~1587)

キリスト教を保護・推奨、西洋文化をいち早く取り入れ、ポルトガルと親交を結んだキリシタン大名

**黒田 官兵衛**

(戦国武将:1546~1604)

豊臣秀吉の側近として活躍し、天下統一を支えた天才軍師

**前野 良沢**

(中津藩医:1723~1803)

解剖書「ターヘル・アナトミア」を杉田玄白らと翻訳し、「解体新書」として出版

**田能村 竹田**

(南画家:1777~1835)

詩・書・画一体の独自の風雅の世界を確立し、代表作のいくつかは国の重要文化財に指定

**広瀬 淡窓**

(儒学者、教育者:1782~1856)

近世最大の私塾 咸宜園を創設し、門下三千有余の中から多方面に人材を輩出

ペトロ・カスイ・岐部

(司祭:1587~1639)

エルサレムを経てローマに赴き司祭となるも、帰国後に殉教

麻田 剛立

(天文学者:1734~1799)

ガリレオやニュートンに並び、月のクレーターの名前となった

大蔵 永常

(農学者:1768~1860)

九州各地をはじめ、大阪から東北にまで農業技術を学ぶ

(近代…明治以降)

**福沢 諭吉**

(啓蒙思想家:1835~1901)

慶應義塾の創設者であり、「学問のすゝめ」「西洋事情」などを執筆。一万円札の肖像としても有名

**滝 廉太郎**

(作曲家:1879~1903)

明治の中期、音楽界に彗星のように現れ、「荒城の月」「花」など不朽の名曲を残した。23歳で死去

**野上 弥生子**

(小説家:1885~1985)

夏目漱石の指導を受けて小説を書き始め、「海神丸」「秀吉と利休」など多数の作品を発表

**双葉山 定次**

(大相撲力士:1912~1968)

前人未踏の69連勝を誇る第35代横綱。愛称は「不世出の横綱」「相撲の神様」「昭和の角聖」

矢野 龍溪

(政治家:1850~1931)

福沢諭吉の門下生で、政治小説「経国美談」の著者

久留島 武彦

(童話家:1874~1960)

童謡「夕やけ小やけ」を作詞した「日本のアンデルセン」

堀 悌吉

(軍人:1883~1959)

平和と軍縮を希求した知性派海軍中将

朝倉 文夫

(彫刻家:1883~1964)

「墓守」など数多くの傑作を生み、「自然主義的写実主義」という作風を確立

福田 平八郎

(日本画家:1892~1974)

鮮やかな色彩と大胆な画面構成による独自の装飾的表現を確立

高山 辰雄

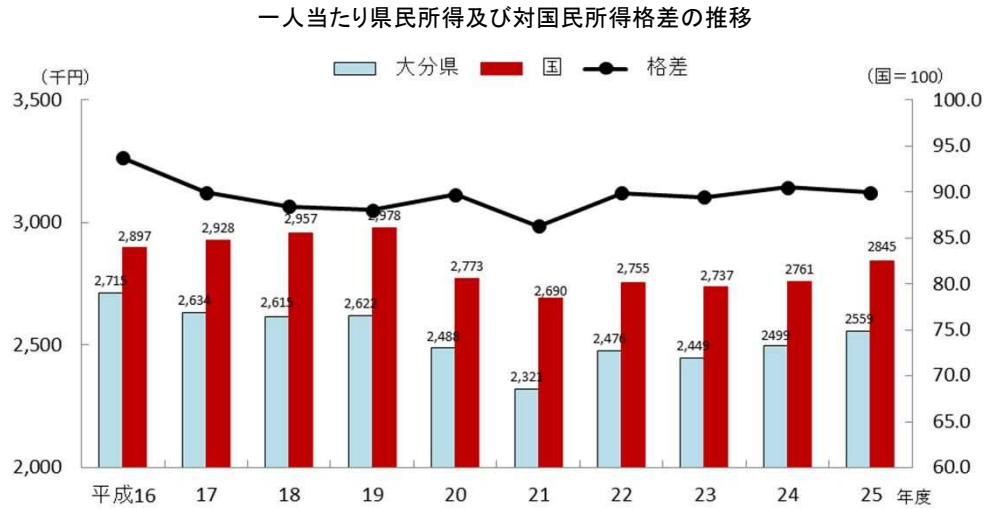
(日本画家:1912~2007)

日本画と洋画の壁を取り除く独自の創作を展開

2. 大分県の経済・産業

(1) 県民経済

平成25年度の一人当たり県民所得は2,559千円であり、九州第2位となっていますが、依然として国民所得とは1割程度の格差が生じています。



資料: 県統計調査課

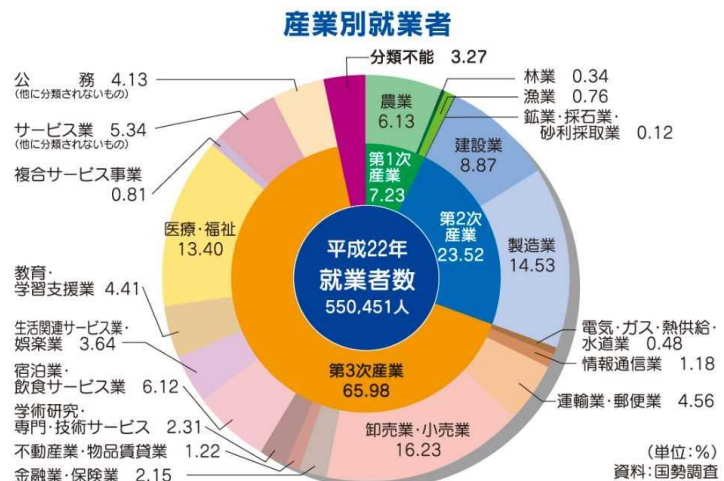
(2) 産業構造



資料: 県統計調査課

平成25年度の県内総生産(名目)は約4兆2千億円となっており、近年は横ばい傾向です。

また、生産額及び就業者数は、いずれも第3次産業が最も多く、次いで第2次産業、第1次産業の順番となっています。



(3) 産業の状況

① 農林水産業

農業では、米を基盤に野菜(白ねぎ、トマト、いちご等)、果樹(なし、カボス等)、花き(キク、バラ等)の園芸作物や肉用牛を中心とする畜産など、県内各地域の立地条件を生かした多様な農業が展開されています。

林業では、日田市、佐伯市を中心とした、スギの木材生産や、豊後大野市や竹田市を中心とした乾しいたけ生産が盛んです。

水産業では、主に単価の高い中高級魚を対象とした漁業が営まれています。

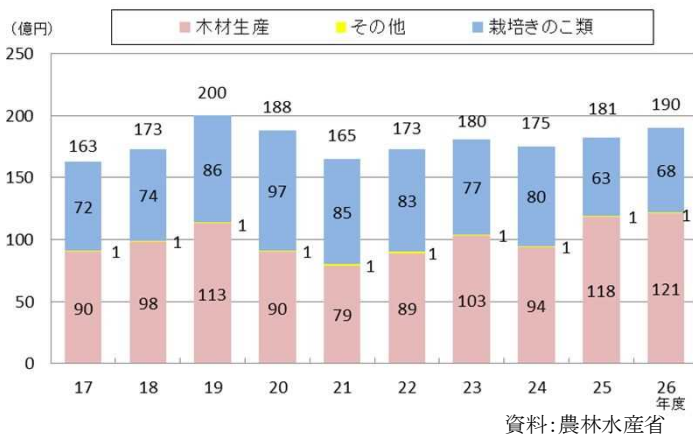
農業

農業産出額の推移



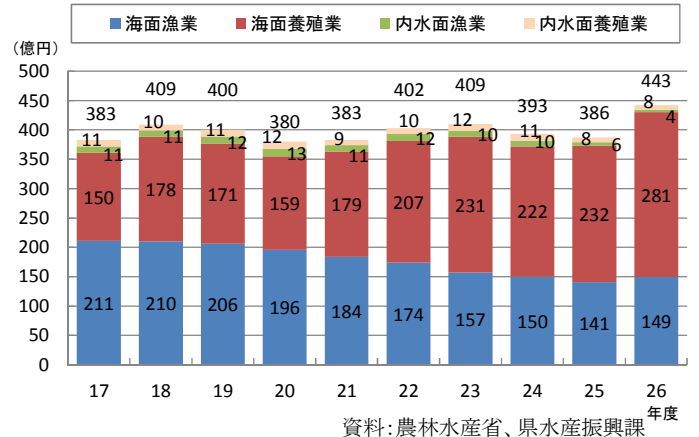
林業

林業産出額の推移



水産業

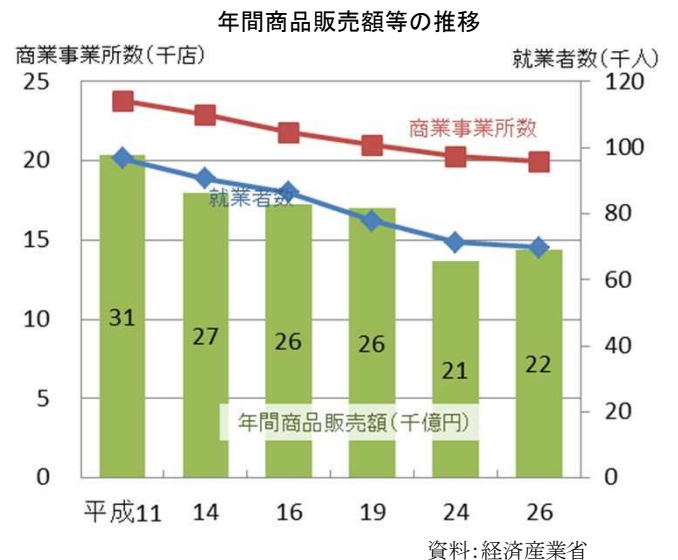
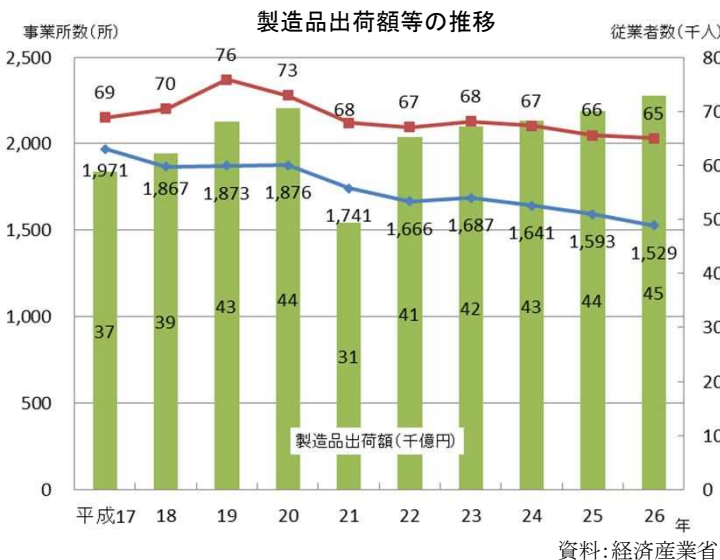
水産業生産額の推移



② 商工業

大分県には、鉄鋼、石油、化学、半導体、機械、自動車、医療機器など幅広い産業がバランスよく立地しており、製造品出荷額(平成26年)は約4兆5千億円となっています(九州第2位)。

商業については、事業所数、就業者数ともに減少が続いています。年間商品販売額(平成26年)は約2兆2千億円となっています。



3. 大分県庁の組織と業務

(1) 組織と業務



注1 このほか、行政委員会として選挙管理委員会、海区漁業調整委員会、内水面漁場管理委員会、収用委員会があります。

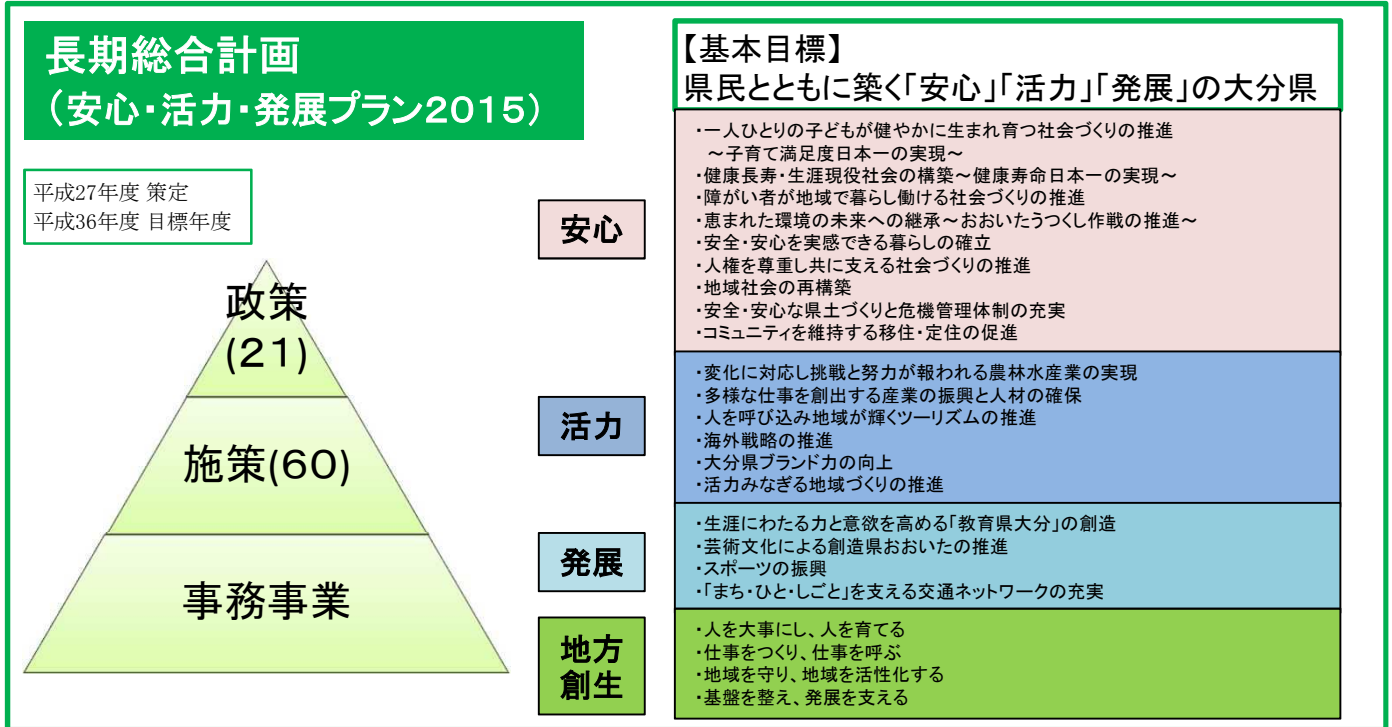
注2 組織改正等により変更となる場合があります。

主な地方機関

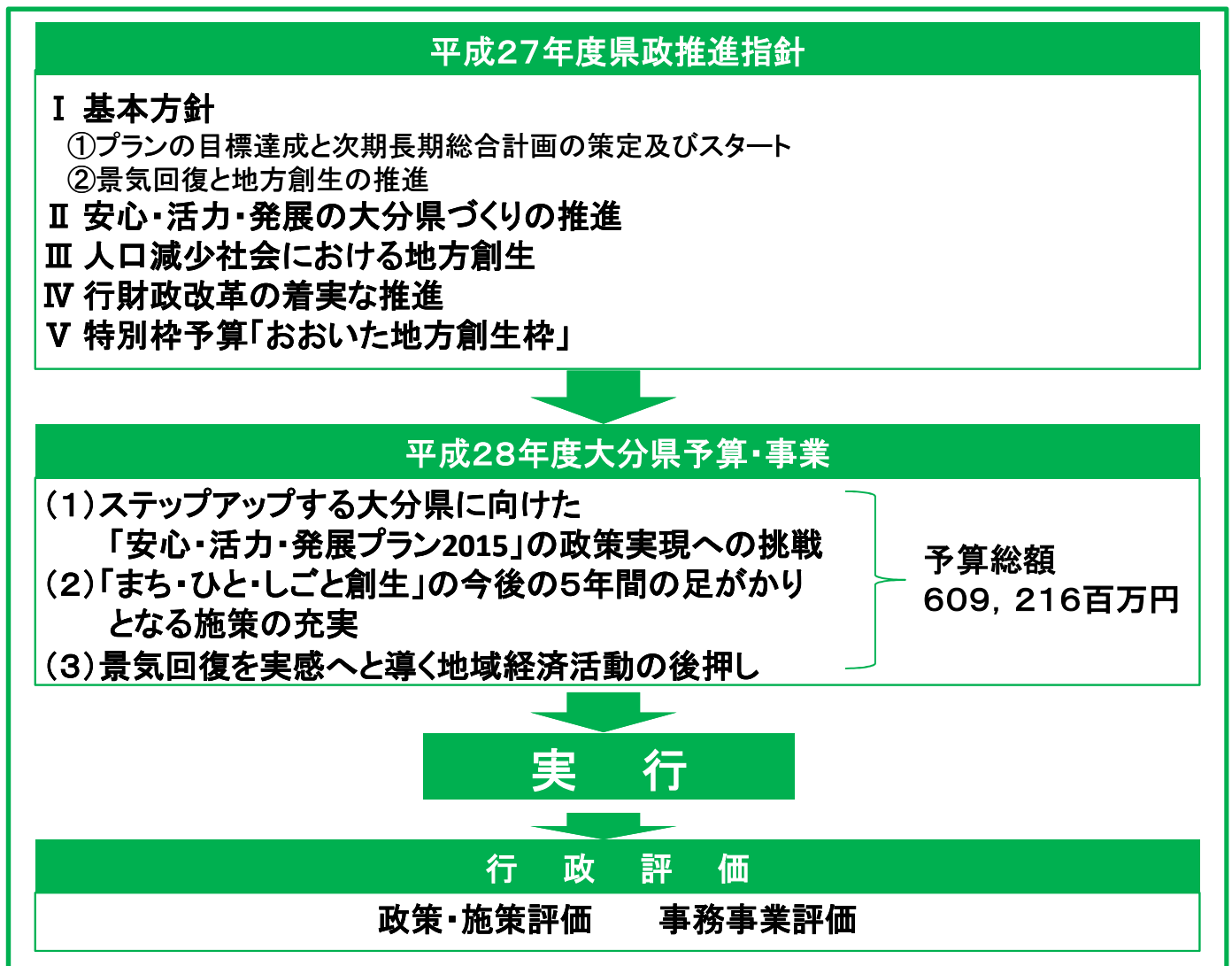
- 宇佐市**
北部振興局
宇佐土木事務所
- 豊後高田市**
豊後高田土木事務所
- 国東市**
東部振興局
国東土木事務所
- 別府市**
別府県税事務所
東部保健所
別府土木事務所
- 大分市**
中部振興局
大分県税事務所
大分土木事務所
- 臼杵市**
中部保健所
臼杵土木事務所
- 日田市**
西部振興局
日田県税事務所
西部保健所
日田土木事務所
- 玖珠町**
玖珠土木事務所
- 竹田市**
豊肥振興局
竹田土木事務所
- 豊後大野市**
豊後大野県税事務所
豊肥保健所
豊後大野土木事務所
- 佐伯市**
南部振興局
佐伯県税事務所
南部保健所
佐伯土木事務所

- 振興局**
税務、福祉、保健、土木を除く県の地方機関として、県内6か所に設置されており、各地域における地域振興等に取り組んでいます。振興局内の組織は、地域によって多少違いはありますが、主に総務部、地域振興部、農山(漁)村振興部、生産流通部、農林基盤部などとなっています。
- 県税事務所**
総務部税務課の地方機関として、県内6か所に設置されており、法人・個人事業税、不動産取得税等、県税の賦課・徴収や滞納処分に関する事務などを行っています。
- 保健所**
福祉保健部の地方機関として、県内6か所と3保健部が設置されています。地域保健活動の広域的・専門的・技術的拠点として、疾病の予防、健康増進、食品衛生、環境衛生、健康危機管理等に関する業務のほか、町村部の生活保護や児童家庭相談などの地域福祉業務を行っています。
- 土木事務所**
土木建築部の地方機関として県内12か所に設置されています。道路、河川、港湾、砂防、都市計画、ダム等の土木事業に関する計画・設計・施工管理・維持管理、建築物の確認・許可、県有建築物の企画・設計・工事管理・維持管理等の業務、また、これらに伴う用地取得及び物件補償の事務のほか、建設業や屋外広告物、工事経理等に関する事務などを行っています。
- 主な試験研究機関**
衛生環境研究センター、産業科学技術センター、農林水産研究指導センターなどの機関で、試験研究を行っています。

(1) 中長期



(2) 単年度



5. 安心・活力・発展プラン2015

(1)安心

1 一人ひとりの子どもが健やかに生まれ育つ社会づくりの推進 ～子育て満足度日本一の実現～

子育てに係る経済的負担の軽減、地域の実情に応じた子育て支援の充実、男性の育児参画の推進など、社会全体で子育てを支える環境を整備するとともに、児童虐待の未然防止や子どもの貧困対策、障がいのある子どもと家族へのきめ細かな支援、出会いから結婚・妊娠・出産・育児の切れ目ない支援などにより、県民の子育ての希望を実現します。

- ・子育て満足度日本一の実現を目指します。



認定こども園の子どもたち

2 健康長寿・生涯現役社会の構築 ～健康寿命日本一の実現～

県民参加型の健康づくりや健康を支える社会環境の整備、地域で安心して医療サービスを受けられる体制の充実・強化、さらには高齢者が子育て支援などの地域活動に参加することによる生きがいづくりのほか、地域包括ケアシステムの構築による安心して暮らせる基盤づくり、認知症施策の充実などにより、健康長寿の社会づくりを推進します。

- ・健康寿命日本一の実現を目指します。



総合型地域スポーツクラブによる「健康づくり宣言」

3 障がい者が地域で暮らし働ける社会づくりの推進

障がい者に対する理解の促進やグループホームなどの住まいの場の確保、芸術文化・スポーツを通じた社会参加の推進など、障がい者が身近な地域で安心して生活を送るための取り組みや、雇用の場の拡大、職場定着への支援、工賃向上のための共同受注・共同販売体制の確立などにより、障がい者が地域で心豊かに暮らし働ける社会づくりを推進します。

- ・障がい者雇用率日本一の実現を目指します。



就労支援施設で働く障がい者

4 恵まれた環境の未来への継承

～おおいたうつくし作戦の推進～

生物多様性や自然環境の保全などによる自然と共生する社会づくり、3Rの推進、豊かな水環境の創出などによる循環型の社会づくり、地球温暖化対策による低炭素社会づくりを推進するとともに、環境教育や地域活性化型の環境保全活動として「おおいたうつくし作戦」を推進することで、美しく快適な大分県を実現します。

- ・ 県民一斉おおいたうつくし大行動参加者数年間40万4千人を目指します。



ミヤマキリシマとくじゅう連山

5 安全・安心を実感できる暮らしの確立

県民をはじめ企業などと協働して犯罪や交通事故の抑止に取り組むほか、消費者の安心の確保、人と動物が共生する社会の実現、食の安全・安心の確保、健全な食生活と地域の食をはぐくむ食育の推進などにより、県民が安全に安心して暮らせる社会を実現します。

- ・ 刑法犯認知件数年間4,000件以下を目指します。



自主防犯パトロール隊との協働による
児童の見守り活動

6 人権を尊重し共に支える社会づくりの推進

体系的・効果的な人権教育や啓発、人権問題に関する相談・支援・権利擁護など人権施策を総合的に推進するとともに、女性に対する暴力の予防や被害者支援体制の充実など、男女の平等と人権を尊重する環境づくりを進めます。

- ・ 人権問題専門研修受講者数2,000人を目指します。



ヒューマンフェスタ

7 地域社会の再構築

福祉関係団体や民間企業等の地域福祉活動の推進、地域を支える人づくり、基盤づくりによるつながりを実感する地域社会の実現などに取り組むとともに、集落が互いの機能を補い合うネットワーク・コミュニティを推進し、地域の賑わいの場づくり、生活交通の確保などにより、安全・安心な地域社会を構築します。

- ・ネットワーク化の希望を叶えた集落数1,500集落を目指します。



小規模集落応援隊による水路復旧活動

8 多様な県民活動の推進

NPO・ボランティアの育成・活動支援を行うとともに、NPO・企業・行政など多様な主体が地域課題に協働して取り組む支え合いの仕組みづくりや、協働に対する県民理解・参加を促進します。

- ・県・市町村との協働件数年間1,192件を目指します。



NPOと協働して海岸清掃を行うボランティア

9 安全・安心な県土づくりと危機管理体制の充実

自主防災組織の活性化、防災教育・訓練の充実、救助・救援体制の確保など、自助・共助・公助の取り組みや、防災・減災対策、老朽化対策などの社会資本整備を進めるとともに、新型インフルエンザ等の感染症や家畜伝染病の発生・まん延の防止を徹底します。

- ・自主防災組織避難訓練等実施率90%(津波浸水想定区域100%)を目指します。



大分西部地区総合防災訓練
(埋没車両捜索訓練)

10 コミュニティを維持する移住・定住の促進

地域の居住環境や魅力の情報発信を強化するとともに、移住の受け皿となる仕事づくり、移住後の定着に向けた移住者へのフォローアップ、大学生等若者の県内定着やU I Jターンの促進に取り組み、地域活力の向上を図ります。

- ・移住施策を活用した移住者数年間750人を目指します。



東京で行われた移住相談会

(2) 活力

1 変化に対応し挑戦と努力が報われる農林水産業の実現

農林水産業の成長産業化に向け、規模拡大や協業化による先駆的な経営体の育成や就農学校の整備などによる新たな担い手の確保・育成、戦略的な輸出の拡大、食品産業と連携した加工・業務用向けの産地づくりなどにより構造改革をさらに進め、生産者の挑戦と努力が報われる農林水産業を実現します。

- ・農林水産業による創出額年間2,250億円を目指します。



大規模な園芸施設（トマト）

2 多様な仕事を創出する産業の振興と人材の確保

地域の強みを生かす産業集積と戦略的な企業立地の推進、創業支援の強化やサービス産業の生産性向上支援、クリエイティブ産業への挑戦を通じたイノベーション促進等による魅力ある仕事の場づくりに加え、産業の発展を支える優秀な人材を確保し、多様な担い手がそれぞれの就業ニーズに応じて活躍できる社会を目指します。

- ・創業支援件数年間500件を目指します。



おおいたスタートアップセンターにおける創業相談

3 男女が共に支える社会づくりの推進

固定的な性別役割分担意識を解消し、働く場をはじめあらゆる分野での女性の活躍を推進するとともに、男女が性別に関わりなく社会の対等な構成員として、その個性と能力を発揮し、共に多様な生き方や働き方を実現できる男女共同参画社会づくりを進めます。

- ・女性が輝くおおいた推進会議の女性活躍宣言企業数200社を目指します。



女性が輝くおおいた推進会議発足式

4 人を呼び込み地域が輝くツーリズムの推進

「おんせん県おおいた」の強みを生かした情報発信や団体誘客の促進等による国内誘客と、ラグビーワールドカップ2019などを契機とした海外への情報発信や観光案内の多言語対応などによる海外誘客（インバウンド）を強化するとともに、観光人材の育成・確保や地域ブランドイメージの確立につながる地域磨きを推進し、観光による活力ある大分県づくりを目指します。

- ・県内宿泊客数年間730万人を目指します。



地獄蒸し料理を楽しむ外国人観光客

5 海外戦略の推進

海外の活力や人材を取り込み、ものづくり産業や農林水産物・加工品、観光など、分野別にターゲットとなる国・地域を定めた海外戦略を展開するとともに、海外展開の基盤となるネットワーク強化や、留学生など外国人人材の活用、芸術文化・スポーツなど様々な分野における国際交流の促進により、海外に開かれた飛躍する大分県を実現します。

- ・海外展開企業数150事業者を目指します。



香港で開催された「大分フェア」

6 大分県ブランド力の向上

「おんせん県おおいた」の統一イメージの浸透や、世界農業遺産など世界ブランドの活用、政策と広報の連携強化やターゲットの明確化などによる広報の最適化、世界的スポーツイベントや海外ネットワークを活用した海外広報の強化によりブランド力を向上させ、地域活力の向上につなげます。

- ・地域ブランド調査全国12位を目指します。



地域の魅力を伝えるPR活動

7 活力みなぎる地域づくりの推進

地域資源や歴史・文化、地理、地質などの地域の特徴を活用した新たな取り組みや、芸術文化の創造性を生かした地域づくりを支援するとともに、地域づくり人材の育成、空き家等の利活用などにより、地域の元気を創造します。

- ・地域活力づくり取り組み件数1,670件を目指します。



地域のボランティアガイドによる世界農業遺産めぐり

(特徴ある地域づくり)

県内各地域で、地域資源を活用し特徴を生かした産業振興や仕事づくりに取り組みます。



東部地域

(別府市、杵築市、国東市、姫島村、日出町)

- 時代の変化に対応する農林水産業の創出
- 「おんせん県おおいた」と「豊の国千年ロマン観光圏」の推進
- 文化・伝統、アート、スポーツによる地域の活力向上
- 誘致企業へのフォローアップと地域の特性を生かした企業の誘致



国東半島峯道ロングトレイル

中部地域

(大分市、臼杵市、津久見市、由布市)

- 芸術文化の創造性を生かした魅力あるまちづくりの実現
- 地域特性を生かした観光振興による交流人口の増加
- 地域の特徴を生かした力強い経営体の育成と地域ブランドの確立
- 特色ある地場産業を担う人材育成



子どもたちに人気の観光施設

南部地域

(佐伯市)

- 全国トップレベルの養殖業の経営強化など、安定した雇用の場の確保
- 全国に先駆けた「佐伯型循環施業」による木材安定供給の推進
- 温暖な気候を生かした、よりもうかる農業生産体制の確立
- 東九州自動車道を生かした食観光の促進
- 九州一広い街・浦・里の安心・安全で活力ある地域づくり



かぼすブリ

豊肥地域

(竹田市、豊後大野市)

- 競争に打ち勝つ農業経営体の育成と新たな担い手の確保
- 豊かな地域資源を生かした新たな誘客促進
- 高原や温泉を活用した産業の振興
- 郷土芸能や特産品など地域の特徴を生かした地域づくりの推進



雄大な久住高原

西部地域

(日田市、九重町、玖珠町)

- 地域経済を支える林業・木材産業の振興
- 飼養環境に恵まれた畜産の振興
- 地域の強みを生かした農業の振興
- 県境を生かした交流の促進による観光の振興
- 水と緑にあふれる豊かな地域の再生



三隈川の屋形船

北部地域

(中津市、豊後高田市、宇佐市)

- 地域の特性を最大限に生かした第一次産業の振興と6次産業化の推進
- 集積する自動車関連企業のさらなる競争力強化に向けた支援
- 地域固有の旅体験で人を呼び込む観光の振興
- 地域コミュニティの活性化に向けた取り組みの支援



体験型観光イベント

(3) 発展

1 生涯にわたる力と意欲を高める「教育県大分」の創造

未来を切り拓く力と意欲を身に付けさせる教育の推進や、世界に通用する「グローバル人材」の育成、いじめ・不登校対策の充実・強化、学校・家庭・地域との協働など学校教育の充実と生涯を通じた学びを支援するとともに、青少年の健全育成や多様な行政課題の解決に向けた県内大学との連携などを進めます。

- ・ 全国に誇れる教育水準の達成を目指します。



ICT を活用した授業

2 芸術文化による創造県おおいたの推進

多彩な芸術文化に親しむ機会の充実、芸術文化の魅力発信強化、芸術文化ゾーンを核としたネットワークの構築などに取り組みるとともに、地域の人々の誇りや絆、文化的アイデンティティの礎となる文化財・伝統文化の保存・活用・継承を進めることで、人々の生活を豊かにし、創造的で活力あふれる地域社会を構築します。

- ・ 県立美術館入場者数年間50万人を目指します。



大分県立美術館 (OPAM)

3 スポーツの振興

ライフステージに応じたスポーツ活動の推進により健康で活力に満ちた長寿社会を実現するとともに、ジュニア期からの一貫指導体制の確立や競技力を支える人材の養成等による世界に羽ばたく選手の育成、ラグビーワールドカップ2019の成功に向けた取り組みや国際スポーツ大会の誘致など、スポーツによる地域の元気づくりを進めます。

- ・ 国際大会出場者数年間45人を目指します。



2015年アスタナ世界柔道選手権大会
女子78キログ級で優勝した梅木真美選手

4 「まち・ひと・しごと」を支える交通ネットワークの充実

高速バス、フェリー、航空機などの広域公共交通ネットワークの充実、フェリーターミナルや港湾の機能強化など、九州の東の玄関口として人や物の流れの拠点化を推進するとともに、広域道路交通網整備や東九州新幹線の整備計画路線格上げの取り組み強化、産業や生活を支える道づくり、快適な都市空間の形成などを進め、まち・ひと・しごと創生を支える基盤を整備します。

- ・ 広域公共交通輸送人員年間1,078万人を目指します。



物流の拠点 大分港大在地区

(4) 地方創生

1 人を大事にし、人を育てる

子どもを生み育てやすい環境づくりや健康長寿の社会づくりなど、自然増のための環境を整えます。また、高齢者や障がい者、女性など多様な人材の活躍を促進するとともに、大分県の将来の担い手となる子どもの教育の充実を図ります。

- ・若い世代の結婚・子育ての希望の実現を目指します。



放課後児童クラブで過ごす子どもたち

2 仕事をつくり、仕事を呼ぶ

地域密着の産業である農林水産業や商工業、観光・ツーリズムなど、様々な分野に魅力ある仕事の場を創出します。

- ・魅力ある仕事づくりによる新たな雇用創出数9,700人を目指します。



就農学校の設定

3 地域を守り、地域を活性化させる

人口減少の中で、住み慣れた地域に住み続けたいという住民の思いを叶える地域づくりを進めるとともに、特徴ある地域資源を生かした取り組みやU I Jターン促進などにより地域活性化を図ります。

- ・人口の社会増について、国立社会保障・人口問題研究所推計と比較して年間1,000人の上乗せを目指します。



小規模集落応援隊が参加した地域の伝統行事

4 基盤を整え、発展を支える

広域交通網の整備など地域間競争の基盤整備を進めるとともに、防災など地域の安全性・強靭性を高めます。

- ・大分市中心部まで概ね60分で到達できる地域の割合78%を目指します。



日田に向かって整備が進む中津日田道路

6. 大分県行財政改革アクションプラン

県は、平成16年に「行財政改革プラン」、21年に「中期行財政運営ビジョン」、24年に「行財政高度化指針」を策定し、これまで聖域なき行財政改革を行い、歳出削減と歳入確保に取り組んできました。その結果、財政調整用基金の27年度末残高は、目標額を上回る433億円を確保するとともに、県債残高は3年連続で減少するなどの成果を上げてきました。

しかしながら、少子高齢化・人口減少社会の到来など様々な課題があり、今後の行財政運営は一層厳しさが増すものと懸念されています。27年7月に試算した今後の県財政収支見通しでは、行財政高度化指針と同様に毎年度40億円の歳入確保・節減の取組を行った場合でも、31年度末の財政調整用基金残高は約245億円まで減少し、安定的な行財政運営に必要な残高に対し、約80億円が不足すると見込まれています。

今後は、大分県長期総合計画「安心・活力・発展プラン2015」に掲げた政策の実現を下支えするため、平成27年10月に策定した「大分県行財政改革アクションプラン」に基づき、「選択と集中の推進」、「原点に立ち返った見直し」、「地道な取組の実行」の3つの視点から、具体的な取組項目・時期を明示し、見通しを持って計画的に取り組んでいきます。

計画期間 平成27年度～31年度までの5年間(新たに策定したプラン2015と連動)

行財政改革アクションプランの体系



県民

「夢と希望あふれる大分県」の実現

「安心・活力・発展プラン2015」に掲げる政策の実現

「安心・活力・発展プラン2015」を支える行財政基盤の強化
(「選択と集中の推進」、「原点に立ち返った見直し」、「地道な取組の実行」)

歳入の確保

- ◆ 県税収入のさらなる確保
- ◆ 税外未収債権の管理強化
- ◆ 基金の見直し
- ◆ 有利な財源の確保

歳出の見直し

- ◆ 事務事業の見直し
- ◆ 総人件費の抑制
- ◆ 社会保障関係費の適正化
- ◆ 公債費等の抑制
- ◆ 公営企業の健全経営・あり方の見直し
- ◆ 危機に対応できる機動的な財政運営

資産マネジメントの強化

- ◆ 県有財産の利活用推進
- ◆ 公共施設等の総合的な管理
- ◆ 公の施設等の見直し

組織の見直し・
人材の育成活用

- ◆ 組織・機構の見直し
- ◆ 公社等外郭団体等の見直し
- ◆ 人材の育成と活用
- ◆ 職員の意識改革と業務の効率化

多様な主体との
連携・協働の推進

- ◆ NPO等民間との協働の推進
- ◆ 市町村との連携
- ◆ 県を超えた広域連携

県庁

～新長期総合計画「安心・活力・発展プラン2015」の政策実現への挑戦と地方創生に取り組むステップアップ予算～

今年度は、プラン2015と地方創生の本格的な取組をスタートさせる大事な年であり、また、地域経済活動を引き続き後押ししていくため、2年連続の6千億円台、3年連続プラスとなる積極予算としました。

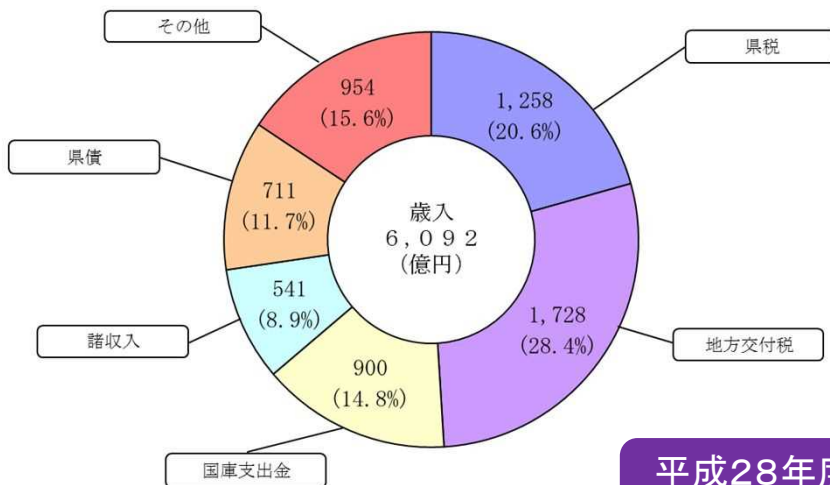
安心の分野では、結婚・妊娠・出産・育児まで切れ目のない支援や県民総参加の健康づくりの推進、障がい者雇用の拡大により、「子育て満足度」「健康寿命」「障がい者雇用率」の3つの日本一に挑戦します。また、従来の「ごみゼロおおいた作戦」を「おおいたうつくし作戦」へと進化させるほか、大規模災害等に備えた防災対策を強化します。

活力の分野では、農林水産業の生産性向上や高付加価値化等の構造改革を加速するとともに、新規就業者の一層の確保・定着を図ります。商工業では企業誘致や地場中小企業へのきめ細かな支援、ツーリズムの振興に取り組めます。また、女性活躍の場の拡大やシニア世代の就業環境整備を進めます。

発展の分野では、生涯にわたる力と意欲を持った人材の育成が重要であり、「教育県大分」の創造を目指します。また、国民文化祭と全国障害者芸術・文化祭、ラグビーW杯の開催に向けて取り組めます。地域間競争の基盤強化に向け、中九州横断道路や中津日田道路等の広域交通網の整備を加速するとともに、九州の東の玄関口としての拠点づくりを進めます。

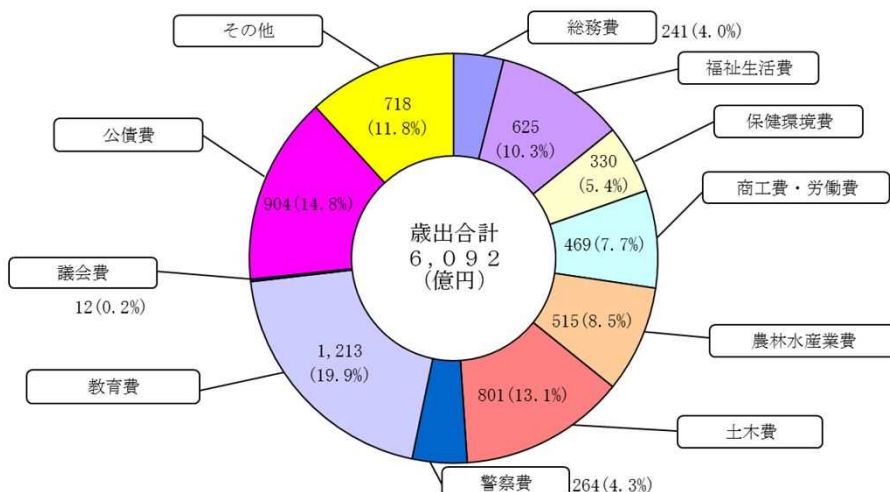
今後5年間で地方創生に道筋をつけるため、「安心・活力・発展」の政策・施策を「人を大事にし、人を育てる」「仕事をつくり、仕事を呼ぶ」「地域を守り、地域を活性化する」「基盤を整え、発展を支える」の4つの視点で整理し、横断的に取り組めます。

「県民中心の県政」の基本に立ち、これまでの成果の上に新たな政策を積み重ね、一歩も二歩も先に進む「ステップアップ大分」を目指しますので、ご理解とご協力をお願いいたします。



県税	県民税、自動車税、事業税などの税金
地方交付税	国から交付される使途を決められていない財源
国庫支出金	国から交付される使途の決められた財源
諸収入	貸付事業の償還金、宝くじ収入など
県債	道路や公共施設等を作るための借金
その他	特別会計や基金からの繰入金など

平成28年度一般会計予算 6,092億円
(前年度比 0.1%増)



総務費	政策や計画を立案したり、地域活性化のための事業等の経費
福祉生活費	子育て支援や高齢者、障がい者福祉のための経費
保健環境費	健康増進や食の安全・安心、環境保全のための経費
商工費・労働費	企業の活動を促進したり、求職者の支援等をする経費
農林水産業費	農業、林業、水産業の振興を図るための経費
土木費	道路や橋、河川、下水道等を建設したり、修繕したりするための経費
警察費	犯罪や交通事故を防ぎ、県民の安全・安心を守るための経費
教育費	学校を建設したり、文化やスポーツを振興するための経費
議会費	県議会を運営する経費
公債費	県債を償還する経費
その他	災害復旧費など

8. 平成28年度の主な取組

(1) 健やかで心豊かに暮らせる安心の大分県

【「子育て満足度日本一」の実現】

- ・若い世代に対し結婚や出産へのプラスイメージの醸成を図るとともに、結婚の希望を叶える広域的な出会いの場を拡充します。
- ・体外受精等の不妊治療に対し、本人負担が概ね3割となるよう、市町村と連携して、治療費を助成します。
- ・様々な子育て支援サービスに利用できる「おおいた子育てほっとクーポン」(1万円分)を出生時に配布します。
- ・貧困問題を抱える子どもの早期発見・支援のため、スクールソーシャルワーカーを全市町村に配置するほか、福祉や学校関係者等で構成される要保護児童対策地域協議会を中心とした支援体制を構築します。
- ・ひとり親家庭の子どもの居場所をモデル的に設置し、見守りや学習支援、食事の提供等を行います。

【健康寿命日本一の実現】

- ・県民総ぐるみの健康づくり運動を展開するため、県民会議を立ち上げます。また、健康増進への取組を促すインセンティブ付与について検討します。
- ・県民の体力向上及び健康の保持増進を図るため、総合型地域スポーツクラブを中心として、手軽に取り組める運動プログラムを実施します。

【障がい者雇用率日本一の実現】

- ・障がい者雇用アドバイザーを配置し、民間企業への個別訪問による雇用創出を図ります。
- ・就労継続支援A型事業所の事業拡大に必要な設備整備に対し助成します。また、工賃向上に向けた民間主導の共同受注体制を構築します。
- ・障がい者に対する差別解消のため、相談支援体制を整備するとともに、県民の理解醸成に向けたフォーラムを開催します。

【おおいたうつくし作戦の推進】

- ・美しい自然と快適な自然環境を守り育て、将来の世代へ確実に継承するため、これまでの「ごみゼロおおいた作戦」を「おおいたうつくし作戦」へと進化させます。
- ・河川の良好な水環境を維持・向上させるため、筑後川水系をモデルに、水質や河床付着物などの調査等を実施し、地域のニーズに沿った河川環境改善策を検討します。
- ・姫島村・豊後大野市における日本ジオパークの29年の再認定に向けた取組を支援するとともに、佐伯市・竹田市・豊後大野市や宮崎県と連携し、祖母・傾地域一帯のユネスコエコパークへの登録を目指します。

【交通事故防止・犯罪防止への取組】

- ・高齢運転者の認知症等による交通事故防止を図るため、免許更新時に適性相談等をサポートする保健師等を運転免許センターに2人配置します。
- ・特殊詐欺の根絶に向け、高齢者を中心とした広報啓発やコールセンターによる注意喚起を強化するとともに、被害防止機材の貸与を行います。

【安全・安心な県土づくりの強化】

- ・土砂災害に対する警戒避難体制の整備を図るため、土砂災害警戒区域等の基礎調査を実施し、指定を加速します。
- ・平成24年の梅雨前線豪雨で大きな被害を受けた竹田市街地の安全性を向上させるため、玉来ダムの早期完成に向け、上流仮締切堤や工事用道路などの工事を進めるとともに、本体工事に着手します。

【移住・定住の促進】

- ・本県への移住を促進するため、東京のコンシェルジュに加え、県外事務所にサポーターを新たに配置するとともに、毎月行う東京・大阪・福岡での移住相談会や30歳同窓会の開催などにより移住希望者の掘り起こしを強化します。
- ・ものづくり企業の将来を担う人材の県内就職・定着を促進するため、県内中小製造業に就職する大卒者等への奨学金返還助成制度を創設します。



おおいた子育てほっとクーポン



就労継続支援A型事業所(キッチン花亭)



おおいたうつくし作戦



特殊詐欺根絶の取組(コールセンター)



移住相談会

(2)いきいきと働き地域が輝く活力あふれる大分県

【農林水産業の構造改革の更なる加速】

- ・担い手の確保・育成を促進するため、45歳未満の親元就業者等への県単給付金制度を創設するとともに、「おおいた林業アカデミー」を開設します。
- ・マーケットニーズに対応した産地拡大に向け、園芸施設整備の補助制度を拡充するとともに、食品企業と連携した新たな産地づくりを進めます。
- ・集落営農法人の経営基盤の強化を図るため、規模拡大や法人間連携等を推進します。また、集落営農法人が参入企業等と連携して取り組む地域農業経営サポート機構の設立・運営を支援します。
- ・おおいた豊後牛の安定供給に向け、肥育牛預託貸付制度について、素牛預託方式に加え、管理費を支給する飼育管理預託方式を新設します。
- ・県産豚肉の競争力強化を図るため、統一ブランド化の取組を支援します。
- ・地域材の利用拡大に向け、地域材パネル工法住宅のパネル生産施設の整備を支援します。
- ・養殖クロマグロの多様な販路を確保するため、ブロック加工処理施設の整備を支援します。
- ・輸出の拡大を図るため、米国・シンガポール・EUに海外コーディネーターを配置するとともに、北米で大分県フェアを開催します。



おおいた豊後牛



就農学校の研修

【多様な仕事を創出する産業の振興と人材の確保】

- ・若者の就労を促進するとともに、本県への移住・定着を図るため、県外から本社機能を移転する企業に対する補助制度を創設します。
- ・安定した成長が期待される航空機産業への参入促進を図るため、高い技術力や特色を有する地場企業を支援します。
- ・創業の裾野拡大やベンチャー企業の創出・育成を図るため、おおいたスタートアップセンターにおいて、創業支援やフォローアップなどを行います。
- ・創造的人材の感性やアイデアを生かし、企業との連携による付加価値の高い商品・サービスの創出に向け企業とクリエイターとの融合の場づくりを行います。
- ・働く意欲のある高齢者の就業環境を整えるため、中高年齢者就業支援センター内にシニア雇用推進オフィスを設け、事業所への意識啓発などを行います。



おおいたスタートアップセンター



観光キャンペーン(外国メディア招へい)

【人を呼び込み地域が輝くツーリズムの推進】

- ・destinationキャンペーンの成果を活かし、国内旅行者の誘客を促進するため、「おんせん県おおいた」の強みを活用した戦略的な誘客及び情報発信を行うとともに、平成30年に開山1300年を迎える六郷満山をテーマとした新たなキャンペーンによる観光客の増加を図るため、市町村等と連携し、実行委員会の立ち上げ準備に入ります。
- ・外国人観光客の増加を図るため、Wi-Fi環境を活用した観光施設等の情報発信を強化するほか、宿泊施設向けに、24時間対応の多言語(英・中・韓)通訳サービスを新たに実施するなど受入態勢を充実します。



おんせんおおいたWi-Fi

(3)人を育み基盤を整え発展する大分県

【生涯にわたる力と意欲を高める「教育県大分」の創造】

- ・貧困など家庭環境に起因する不登校等を解決するため、社会福祉士などの資格を持つスクールソーシャルワーカーを全市町村に配置し、早期に福祉事務所等の関係機関へ繋ぐ体制を構築します。
- ・地域の高校が地元で信頼され選ばれる学校となるよう、外部講師の活用などの学力向上に資する取組に加え、地域住民等との連携による魅力・特色ある学校づくりにつながる取組を実施します。



外部講師の活用による学力向上

【芸術文化による創造県おおいたの推進】

- ・30年度に大分で開催する国民文化祭と全国障害者芸術・文化祭の成功に向け、機運醸成を図るため、国民文化祭キックオフイベントや障がい者芸術に関するアートフェスティバルを開催します。
- ・美術教育における、より効果的な鑑賞授業の推進に向け、小学4年生を対象として、県立美術館を活用し、主体的に芸術作品を鑑賞する力を育成するとともに、鑑賞学習の手法、指導法等を研究します。



県立美術館での美術品鑑賞

【スポーツの振興】

- ・ラグビーワールドカップ大分開催の成功に向け、官民一体となって大会を盛り上げるため、ラグビーの普及活動や機運醸成に取り組めます。
- ・32年度に開催される東京オリンピック及びパラリンピックのキャンプ誘致実現に向け、市町村や競技団体と連携した誘致活動を加速していきます。



ラグビーの普及活動

【まち・ひと・しごとを支える交通ネットワークの充実】

- ・東九州自動車道の開通による九州の東の玄関口としてのポテンシャルを活かし、人・ものの流れを活発化させるため、別府港の再編整備に向けた構想の策定や大分港(大在地区)の埠頭用地拡大の検討などを実施します。



別府港石垣地区

9. 大分県高速交通体系図、県のシンボル





<県木 豊後梅>



【昭和41年8月16日制定】

豊後梅は、古くから豊後の名産として知られていました。花は大輪で淡紅色をおびています。

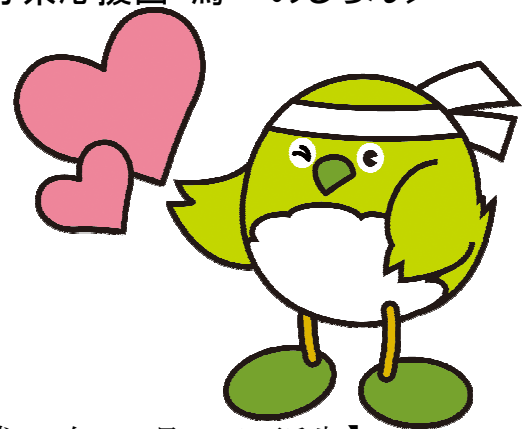
<県鳥 メジロ>



【昭和41年2月1日制定】

メジロは全国的に生息している鳥ですが、大分県のメジロは、色彩が美しく、よく鳴くことから、古くから豊後メジロとして全国的に有名で、県民に愛されています。

<大分県応援団”鳥” めじろん>

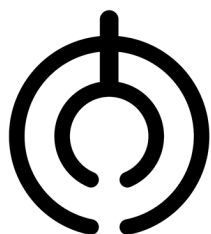


【平成16年12月24日誕生】

第63回国民体育大会のマスコットキャラクターとして生まれ、現在も大分県の応援団”鳥”として世界で活躍しています。

身長: 乾しいたけ 20.08個分

体重: カボス 200.8個分



大分県



大分県企画振興部政策企画課

TEL:097-506-2031

FAX:097-506-1722

〒870-8501

大分県大分市大手町3-1-1

平成28年4月作成